



大規模私立大学におけるIRの推進 -教職協働による取り組み-

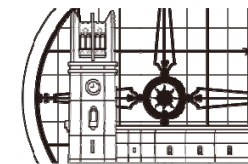
早稲田大学 大学総合研究センター
 姉川 恭子 [anegawa.kyoko@gmail.com]



早稲田大学 大学総合研究センター
 Center for Higher Education Studies, Waseda University

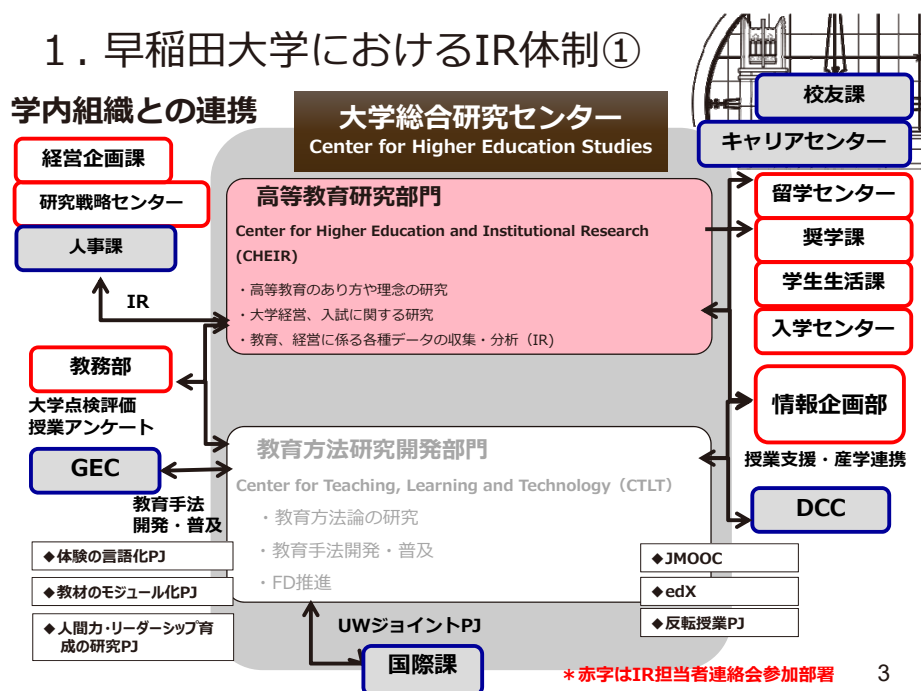
目次

1. 早稲田大学におけるIR体制
2. 事例 1：奨学課プロジェクト（BIツール）
3. 事例 2：EMIRの展開
4. 人材育成
5. 今後の課題

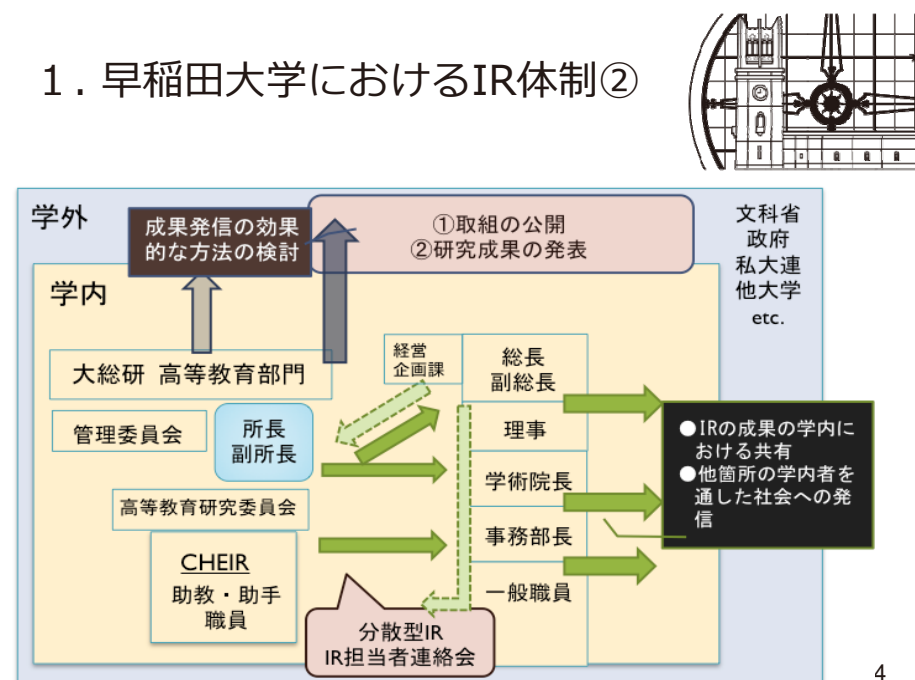


1. 早稲田大学におけるIR体制①

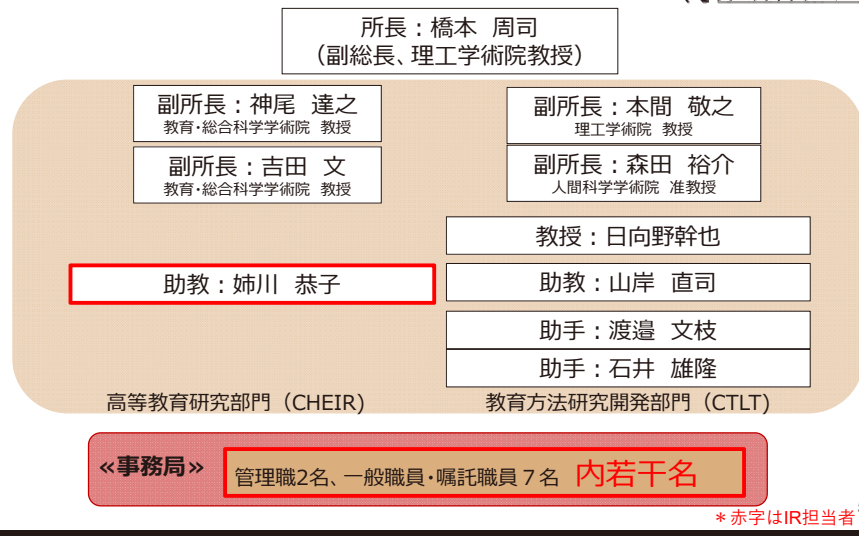
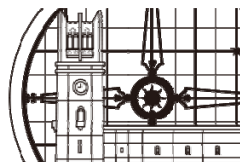
学内組織との連携



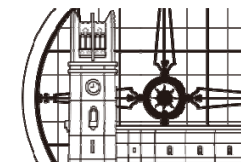
1. 早稲田大学におけるIR体制②



1. 早稲田大学における分散型IR組織図



1. 早稲田大学における分散型IRセンターの役割



【大総研の機能】

- ・ データ所在情報(目録)の管理(大学IRの俯瞰的な把握)
- ・ 分析フレームワークの提供
- ・ 分析支援(コンサル)
- ・ 分析結果の蓄積(ルールの策定・管理)
- ・ 分析結果の公開(情報発信)
- ・ IR活用指導(教育・人材育成)

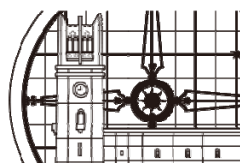


【IR担当者連絡会】月1回

- ・ 各部署におけるIRの事例報告、課題の共有・議論
- ・ 大学全体で進めていくべきIRに関する課題の検討

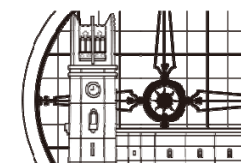


1. 早稲田大学における分散型IR CHEIRにおける研究テーマ(例)

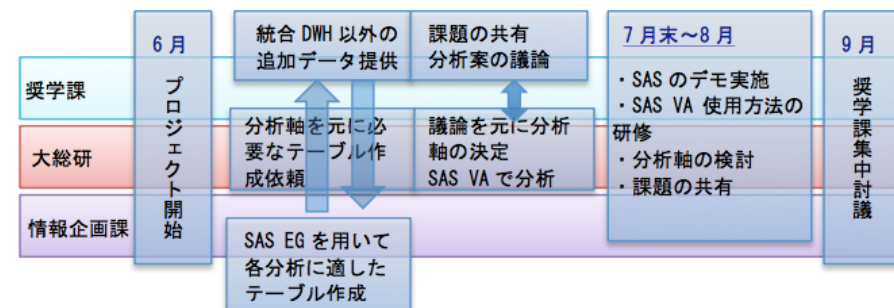


1. 本学におけるIR実態調査の分析結果にもとづく全学的なIR推進体制構築に向けた検討
2. 本学学生調査の現状把握に基づく課題と今後の調査フレームワークの検討
3. 社会的評価における早稲田大学の位置づけと戦略的ベンチマーキング
4. 教育に関する懇談会:授業評価アンケートの分析事例
5. 奨学課との協働プロジェクト
6. オープンキャンパス時アンケートの分析
7. 留学センターとの協働プロジェクト
8. EMIRの展開

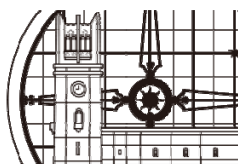
2. 奨学課プロジェクト



●プロジェクトの流れ



2. 奨学課プロジェクト 分析結果 1



日本の奨学金

●ニーズ・ベース

学生個人の経済状況等に基づいて支給

●メリット・ベース

学生の学業成績や芸術・運動などの評価に基づいて支給

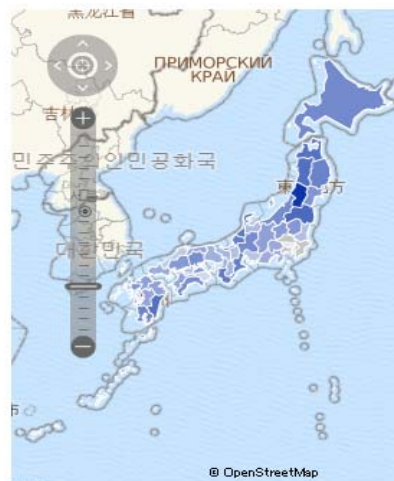
「めざせ！都の西北奨学金」

●1都3県(東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県)を除く地域から応募可能

→地方からの学生募集

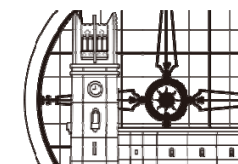
●志願時点で申し込み、入試前に採否が分かる

→入学のインセンティブ向上



3. EMIRの展開(1)

定義



Institutional Research

学生や教職員のデータを収集・分析し、これらの情報を基に意思決定や政策形成を支援すること

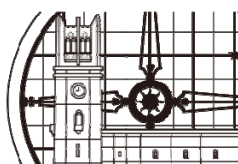
Enrollment Management

学生募集、マーケティング、学生のリテンション(学生の在留率)および意思決定に影響を及ぼすデータを分析して使用すること(林 2009)

10

3. EMIRの展開(1)

大総研：IRに関する実態調査



調査目的 学内の情報収集ならびにデータの統計・分析業務の実情について把握

調査対象 本学全箇所

回収数 60箇所

調査方法 メール

調査期間 2014年12月3日(水)～26日(金)

調査項目 調査目的、対象、回答率、個人情報取得の有無等

上記のうち学生関連調査を4カテゴリーに分類、
学内の学生関連調査の整備及び項目の精査

1. 入学に関する調査
2. 学生生活及び授業に関する調査
3. 就職・卒業に関する調査
4. その他に分類

111

3. EMIRの展開(1)

大総研：学生調査の整理(姉川 2016)



目的

学生関連調査を学生支援や教育改善に有効活用するために、調査自体が現在抱えている課題を抽出し、分析枠組みを作成

方法：他大学調査

入学時調査、学生生活調査、卒業時調査、卒業生調査の他大学の実施方法、調査内容を調べ、本学の学生調査のあり方を検討

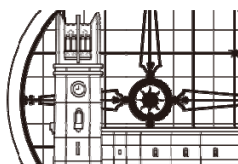
学生生活調査の検討

一他大学で実施されている調査を参考にしながら、本学に適した項目の取舍選択、追加、修正
一先行研究等に基づき分析枠組みの提示

122

3. EMIRの展開(1)

IR担当者連絡会：取得情報の検討

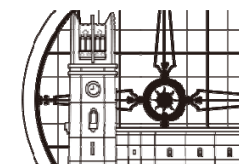


	1. Input	2. Environment	3. Output
1. 属性情報	氏名 性別 年齢 出身地 入学年次 学部 専攻科 専攻	学部 専攻科 専攻	学部 専攻科 専攻
2. 生活状況	家族構成 家族関係 生活費 アルバイト 学業外活動	家族関係 生活費 アルバイト 学業外活動	学業外活動
3. 健康	健康状態	健康状態	健康状態
4. 就学状況	入学理由 入学準備 入学後の生活	入学理由 入学準備 入学後の生活	入学理由 入学準備 入学後の生活
5. 就職	就職希望 就職活動 就職先	就職希望 就職活動 就職先	就職希望 就職活動 就職先
6. 課外活動	課外活動 課外活動 課外活動	課外活動 課外活動 課外活動	課外活動 課外活動 課外活動

133

3. EMIRの展開(2)

附属、系属校調査

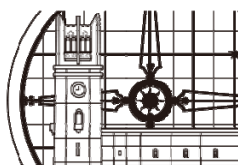


- 附属、系属校の教育効果を明らかにすること
ex. 早稲田で中高から育った学生・生徒の、成績以外で測られる特徴とは…？
- 日本特有の教育システムであり、これらの知見は学問的にも大変意義深いこと
- 開成、灘の研究事例

14

4. IR人材育成

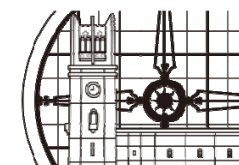
IR担当者連絡会：2017年の取組



- 前期
 - EMIRの項目整理
 - 他部署の分析事例紹介（入学センター、経営企画課）
- 後期：研修方式
 - リサーチクエスチョンの立て方
 - 学内の調査を批判的に検討
 - 卒業生調査の設計

15

5. 課題



- **取得するデータ内容の精査**
大学としてどのような情報を把握すべきか。学生の成長をどのように捉え、測定するか。
- **データ取得方法の検討**
入学前、卒業後の情報をどのように取得するか。附属・系属校への協力要請。卒業生への働きかけ。
- **分析**
- **EMIR実施のための恒常的な仕組み作り**
一過性のプロジェクトではなく、恒常的にEMIRに必要な情報を取得するための枠組み。

16